



## 大切なワクチン接種

### そもそも“ワクチン”とは、どんなもの？

私たちの身の回りには、細菌やウイルスによって引き起こされるさまざまな感染症があります。これらを防ぐためにもっとも有効な手段が“ワクチン”です。ワクチンは、感染症の原因となるウイルスや細菌を精製・加工して、ウイルスや細菌の毒性を弱めて病原性をなくしたものや病原体となるウイルスや細菌の感染する能力を失わせた（不活化、殺菌）ものを原材料として作り体にとって安全な状態にしたものです。本当にかかってしまう前にワクチンを接種して、その感染症に対する抵抗力（免疫）を作っておこうというわけです。

### 現代社会で高まる予防の大切さ

#### 子どもも、おとなも感染しやすい環境に

最近では、赤ちゃんや小さな子ども同伴のレジャー、ショッピング、外食などが日常的になりました。また働く女性が増えて、保育園などで集団生活を送る子どもも増えています。このように子どもが人の多く集まる場所に長時間いることが多くなると、それだけ感染症にかかる機会が増加します。

感染症の流行は子どもだけではありません。2007年に全国の高校や大学で起こった麻しん（はしか）の集団発生のように、若者の感染症の流行もあります。

乳幼児はもちろん成人も、みんなが適切にワクチンを接種して、必要な免疫をつけておくことが、とても大切です。



9月 臨時休診  
8日(木)  
14:00~15:30

### ワクチン接種の大切な3つの目的

1. 自分が感染症にかからないため
2. もし感染症にかかっても症状が軽くてすむため
3. まわりの人に感染症にうつさないため

